

平成 2 3 事業年度

決 算 報 告 書

自 平成 23 年 4 月 1 日

至 平成 24 年 3 月 31 日

国立大学法人千葉大学

平成23年度 決算報告書

国立大学法人 千葉大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,348	18,447	99	(注1)
うち補正予算による追加	107	107	-	
施設整備費補助金	3,586	3,347	△ 239	(注2)
うち補正予算による追加	77	55	△ 22	(注3)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,100	1,490	390	(注4)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	81	81	-	
自己収入	34,407	34,358	△ 49	
授業料、入学料及び検定料収入	8,361	8,323	△ 39	(注5)
附属病院収入	25,668	25,584	△ 83	(注6)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	378	451	73	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,194	4,314	120	(注8)
引当金取崩	106	134	28	(注9)
長期借入金収入	32	7	△ 25	(注10)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	206	428	222	(注11)
計	62,060	62,605	545	
支出				
業務費	51,686	51,739	54	(注12)
教育研究経費	24,863	24,321	△ 542	
うち設備災害復旧事業	73	38	△ 36	(注13)
診療経費	26,823	27,418	596	
施設整備費	3,699	3,434	△ 265	(注14)
うち施設災害復旧事業	77	55	△ 22	(注15)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,100	1,490	390	(注16)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,194	4,130	△ 64	(注17)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,381	1,379	△ 2	(注18)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	62,060	62,173	112	
収入 - 支出	-	432	432	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算に計上していなかった債務残を執行したため、予算額に比して決算額が99百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として予算段階では予定していなかった補助金の増加及び事業の一部を平成24年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が239百万円少額となっております。
- (注3) うち補正予算による追加については、主として事業の一部を平成24年度に繰越したため、予算額に比して決算額が22百万円少額となっております。
- (注4) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金等を獲得したため、予算額に比して決算額が390百万円多額となっております。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として入学者数及び志願者数が見込者数を下回ったため、予算額に比して決算額が39百万円少額となっております。
- (注6) 附属病院収入については、主として手術室増室に伴う増収が当初の見込額を下回ったこと等により、予算額に比して決算額が83百万円少額となっております。
- (注7) 雑収入については、主として講習料収入、職員宿舍使用料収入及び資金運用に伴う利息収入の増額等により、予算額に比して決算額が73百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託事業の増加のため、予算額に比して決算額が120百万円多額となっております。
- (注9) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金及び賞与引当金の取崩を行ったため、予算額に比して決算額が28百万円多額となっております。
- (注10) 長期借入金収入については、事業の一部を平成24年度に繰越したため、予算額に比して決算額が25百万円少額となっております。
- (注11) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった目的積立金の取崩を行ったため、予算額に比して決算額が222百万円多額となっております。
- (注12) 業務費については、主として人件費が当初見込額より少なかったことによる教育研究経費の減額、また退職手当を便宜上教育研究経費に予算計上していたこと等による診療経費の増額により、合算して予算額に比して決算額が54百万円多額となっております。
- (注13) うち設備災害復旧事業については、事業の一部を平成24年度に繰越したため、予算額に比して決算額が36百万円少額となっております。
- (注14) 主として(注2)及び(注10)に示した理由により、予算額に比して決算額が265百万円少額となっております。
- (注15) 主として(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が22百万円少額となっております。
- (注16) 主として(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が390百万円多額となっております。
- (注17) 主として(注8)に示した理由及び複数年にまたがる研究の受入増により、予算額に比して決算額が64百万円少額となっております。
- (注18) 長期借入金償還金については、主として借入金額の変更に伴う支払利息の減少により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。